

議 事 概 要	
会議の名称	令和6年度長久手市予防接種健康被害調査委員会
開催日時	令和6年11月21日(木)午後2時00分から午後3時20分まで
開催場所	長久手市保健センター 3階会議室
出席者氏名	委員 森下 雅史 (予防接種の専門医師) 委員 堀 壽成 (学識を有する者) 委員 丹羽 愛知 (東名古屋長久手市医師会の代表、 予防接種委託医師代表) 委員 鬼頭 昌大 (東名古屋長久手市医師会の代表、 予防接種委託医師代表) ※オンライン会議システムでの参加者を含む。敬称略 事務局 福祉部長 川本 満男 健康推進課長 若杉 雅弥 健康推進課健康増進係長 近藤 小百合 健康推進課健康増進係専門員 山田 篤 健康推進課健康増進係主事 川合 主真 子ども家庭課長 遠藤 佳子 子ども家庭課母子保健係長 今村 知美 子ども家庭課母子保健係主任 永井 佑未子 子ども家庭課母子保健係保健師 斎藤 鞠奈
欠席者	委員 澁谷 いづみ (瀬戸保健所長) 委員 安藤 英也 (東名古屋長久手市医師会の代表、 予防接種委託医師代表)
傍聴者人数	1人
会議の公開・非公開	一部非公開
審議の概要	(1) 令和5年度予防接種事業について 子どもの予防接種 成人の予防接種 (2) 令和6年度予防接種事業について 子どもの予防接種 成人の予防接種 (3) 予防接種の間違い報告について (非公開 傍聴人退出) (4) 健康被害救済制度の認定状況の報告
問い合わせ先	長久手市福祉部健康推進課 電話 0561-63-3300
備考	

議 事 録

1 挨拶

福祉部長から

2 会長挨拶

森下会長

3 議題

第 1 令和 5 年度及び令和 6 年度の予防接種事業について

事務局説明

資料に基づいて説明

質疑応答・意見等

委員

HPV ワクチンについて、親子健康手帳を確認していないため件数が増えたという事例を他市町村で聞くが、長久手市の実施状況はどうなっているか。

事務局

長久手市では、キャッチアップ接種が始まった当初に、対象者でない方が接種した事例があったため、市内医療機関には、必ず親子健康手帳を確認してから接種するよう周知を行っている。また、海外から来られた方で日本の親子健康手帳を持っていないが、日本で接種を希望する方には、転入時交付として親子健康手帳を配付し、確認ができるようにしている。

委員

外国籍の方が全て対象になるわけではないと思うが、対象になる条件はあるか。

事務局

市内の大学に通うため又は働くために、長久手市に住所を有している方を対象に実施している。

委員

麻しん風しんの接種率が 97%、99.7%とあるが、100%に少し届かない。接種していない人はどのような人か把握しているか。

事務局

2 歳時点での接種率を算出しているが、転出入により全ての接種率を把握できていないことや、個人の考えで接種をしない方もいるので 100%には届かない。

委員

新しいワクチンが出てきて、接種する側も混乱したりするので、丁寧な周知を心がけていただきたい。

また、愛知県内どこかの市町で、HPV ワクチンキャッチアップ接種で初回の接種が遅く、2 回目以降が自費になってしまう方に対しても公費で負担するという政策があったが、そういったことは可能か。多くはないが、3 月末までに接種を完了できない方がいると思う。

事務局

HPV ワクチンのキャッチアップを周知してから 8 月、9 月の接種者数は増加しているが、この方達は 3 月末までに接種を完了するように 9 月までに接種を開始しているため、ほとんどの方が接種を完了できるのではないかと思っている。3 月末までに接種を完了できない方がいるが、現在は、国からの指示どおり、3 月末で接種を終了する予定となっている。

委員

HPV ワクチンは、1 回の接種の値段が高いため、接種率を上げるための政策を検討していただければと思う。

第 2 予防接種の間違い報告について

事務局説明

資料に基づいて説明

質疑応答・意見等

委員

間違い接種での健康被害はなかったか。

事務局

子ども、成人の予防接種共に間違い接種での健康被害はでていない。

委員

クレーム等もないか。

事務局

子どもの予防接種については、接種者の母が 2 回目の接種を忘れており、医療機関が特例時の接種間隔で接種を行ったという経緯があるため、説明し納得していただいている。

成人の予防接種についても、クレーム等はありません。

委員

新型コロナウイルスワクチンの接種間隔について、インフルエンザは同時接種、その他のワクチンは 2 週間以上間隔を空けるとするのは、なくなったのか。

事務局

令和 6 年 4 月 1 日からなくなっている。

委員

高齢の方の場合、接種する者が多いため混乱する可能性がある。接種間隔の周知は医師会を通じて行っているということによろしいか。

事務局

医師会を通じて周知をしている。

委員

ぜひ市民にも周知をお願いできたらと思う。

委員

意見や質問があったことを生かして、今後の予防接種事業を進めていただきたい。

事務局

今、皆様からいただいたご意見等について、今後の予防接種事業に活かしていきたいと思う。

(傍聴者退室)

第3 健康被害救済制度の認定状況の報告

午後3時20分終了